

五輪では皇居前に設置された聖火集火台を受注した。67年には、歪みの発生源となる溶接の使用を抑え、2枚の薄板鋼を合板化することで、高い取り付け精度と静音性を実現した組み立て式内部鉄骨階段「Y S階段」を開発。建物の工事とは別に、あらかじめ工場で製作した階段を現場に持ち込み取り付けける画期的な工法で、仮設通路としても利用できることから、工事に携わる作業員の安全確保にも貢献してきた。

当時の常識を覆すY S階段は、第1号を67年に新有楽町ビルに施工。71年には新宿京王プラザホテルで採用され、新宿副都心を始めた超高層ビル開発を切り開いてきた。創業者・横森精文氏に続く2代目トップの有明利昭社長は「建物の解体現場からヒントを得て開発した創業者が築き上げた製品・技術力が最大の強みだ」と言い切る。

20年前から工場の余剰在庫ゼロ化にも取り組む。以前は煩雑な「段取り替え」を嫌い、同一規格の部材（半完成品）



建物になくてはならない「階段」を造り続けている

●長寿の秘訣

「自由にものが言える風通しの良い社内風土を保つこと」と有明社長。以前は営業、設計、工事の3部門が縦割りで職場も異なり、顧客からのクレームに「他部門のせいだ」と即応しなかったという。顧客ごとに同一職場にした結果、「レスポンスが早まり顧客との信頼関係も深まった」と語る。業務や製品に対する改善発表会や階段組立コンテストなども社内団結に役立っている。



メインスポンサーを務めている「ハルカス・スカイライン」 チームヨコモリ集合写真

●会社概要

創 業：1951（昭和26）年
設 立：1961（昭和36）年12月
所 在 地：東京都渋谷区幡ヶ谷1-29-2
事業内容：鉄骨階段の設計・製作・施工
売 上 高：170億円（2019年9月期）
社 員 数：445名

URL：https://www.yokomori.co.jp/

超高層ビルで国内シェア 8割の階段メーカー

株式会社横森製作所

日本一の高さ300メートルを誇るあべのハルカス（大阪市）を始め、横浜ランドマークタワー、虎ノ門ヒルズ、JRセントラルタワーズ（名古屋）、東京都庁第一本庁舎、六本木ヒルズなど、日本を代表する超高層ビル・トップ50の9割に採用されている鉄骨階段メーカーがある。高さ634メートルの東京スカイツリーの階段も手がけた横森製作所である。

●高精度・静音・安全性を実現

創業当初は建築金物や手すりを製造。1964年の東京

●社是・理念

- 【社是】
1. 各々その持ち場を守り、全員営業を心懸け、お客さまに満足して頂くために頑張ろう。
 2. 原価意識を旺盛に、損益分岐点を見極めて、儲けにこだわり、損をしないことに徹しよう。
 3. 創意工夫を回らして、無駄を無くし、物と時間を節約し、手直しミスを排除して、前向き作業に徹しよう。
 4. 準備周到、作業入魂、今日の仕事は明日にのばさず、常に問題と対決して、自らが解決者となろう。
 5. 自己チェックは厳正に、パトントッチは確実に、一人相撲をとらないで、全員の知恵と力を活用しよう。
 6. 進んで困苦に耐え、現状に満足することなくより良きを求め、理想に向かって邁進しよう。



代表取締役社長
有明 利昭 氏



2017年7月に開設した
[YOKOMORI SINGAPORE PTE LTD.]

の事業展開にある。1995年に中国・上海で合弁生産を始めたが、20年間の契約が切れて生産を終了した。このため15年に独資で中国法人を設立。35人が日本向けの設計を担うほか、今後の現地生産再開にもらむ。

これに続き15年に米國、17年にはシンガポールに現地進出し、米國・東南アジア市場の開拓を目指す。「技術力の源泉となる設計部隊は国内で約120人。これに中国法人とベトナムの委託先を加え、顧客の要望に迅速に対応していく」と有明社長は決意する。

を大量に作っては倉庫に山積みにしていった。だが部材が必要になった時、探したり運んだりする無駄が半端でない。工程を大幅に見直し最終製品を短時間に作れるようにして「倉庫一杯だった在庫は半年でほぼゼロになった」という。

2017年に北海道千歳市に全国9カ所目の工場を開設したことで、国内生産体制はほぼ完成した。次の課題は海外で